

ると食料は足らず、今後の人口増加や高齢化を考慮すると、食料危機は避けられないそうです。そんな中で出てきたのは、いわゆる「遺伝子組み換え」系の食料です。効率的に生産ができ、大量生産が可能のため、誰もが知る世界的な大富豪が投資をしているそうです。日本でも表示義務などがなくなり、知らず知らずに私たちが口にしていることでしょう。しかし、そのような食料が人体に与える影響はまだ分かっていません。さらに、そのようなものを作る農場は土地がやせていってしまうそうです。

なんか嫌な話だなあ…と思っていたのですが、それとは違う動きも出てきているようです。それが有機農法や、放牧による酪農です。以前は「有機農法＝手がかかる」と思われていたのですが、最新の技術で手間

も少なくなり、収穫も多くなり、当然化学肥料にかかるコストが削減されます。放牧によって牛たちが穀物ではなく、本来食べるべき草を食べることでゲップによる二酸化炭素は減り、土に温室効果ガスを抑え込むことができるとのこと。



日本でも、学校給

食を地元の有機農法で作ったお米だけを利用している町もあるようです。新宿区民としてはうらやましい。テレビの「鉄腕DASH」という番組で、

以前から「OOSHIO」のメンバーが農家の方のいろんな知恵を授かりながら有機農法をやっているのを見て、人間の知恵はすごいなあと思っていたので、なにか腑に落ちる感覚でした。

自分の体は食べたものでできています。もう少し食べるもの、そしてそれが作られる環境に関心を持ちたいですね。

ホームページ

開業以来、ふれあい歯科ごとうのホームページは僕が作っていたのですが、さすがに技術的な限界を感じ！詳しい方に作り直してもらいました。まだ、移行したばかりですが、今後、少しでも有益なものにしようと思っています。ちなみにこの「ごとう通信」、20年ほど前のものも公開されているようです。いやあ、歴史あるなあ。